

# どう使う 今年予算

## 予算審査特別委員会 質問（抜粋）

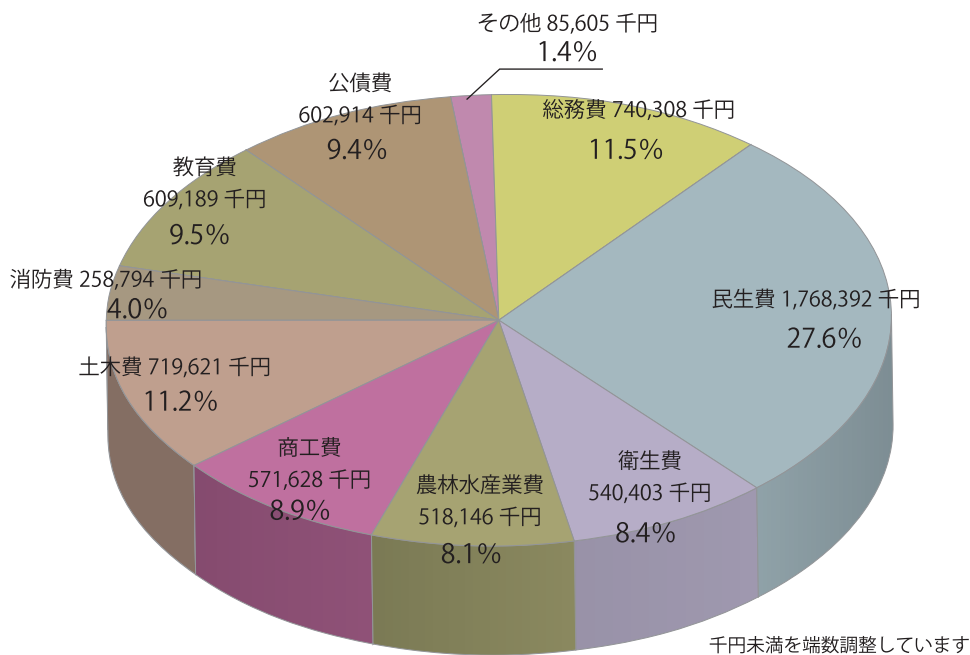
子育て支援事業計画はどのように進めていくか  
今年度は子どもに関わる施設利用や子育てに関するニーズ調査を行い、計画書を作っていく。

購入する放射能測定器の精度は  
学校の給食食材を測定するためのもので、県と同様の高性能のもの。

IUターン事業は、毎年同規模で行っているが効果はあるか  
富士見町をPRする上では効果があり、参加者には好評で継続的に実施していく必要がある。

自主防災補助の状況は  
東日本大震災以降要望も多くなり、200万円では少ない状況だが、遅れている集落への補助を優先的に進めていく。

平成 26 年度一般会計予算 目的別構成割合



中山間事業は最終年度になるがその後の計画は  
第3期対策が最終年度であり、その後は第4期対策に取りかかる。大型直接支払い制度も始まるため、その事も含め取り組んでいく。

生ごみ分別回収を実験的に実施するとの事だが、約50万円の  
内訳は  
費用はバケツ等の物件費、収集費等で集落を特定し2～3ヶ月施行したいと考えている。

保険給付費の状況は  
去年の当初予算に比べると13%増額の約12億4000万円を見込んでいる。

高齢者クラブ連合会の減少に対する  
対応は  
高齢者クラブの活動は福祉・介護予防につながるため支援をしていきたい。

入笠湿原の維持管理はどのように  
考えているか  
山野草公園も含め、一体的に整備していきたい。現状にあった整備方法をプロジェクト会議の中で話していきたい。

サル个体調査識別調査は北杜市と連携しているか  
すでに連携している。北杜市は信州大学に調査委託をしており、富士見町も信州大学と連携し調査していく。

医療給付費の高騰を、ジェネリック医薬品で押さえる事は出来ないか  
ジェネリックへの移行は取り組んでいるが、金額の効果は少ない。

児童クラブ事業で増員する職員は専門知識がいるのか  
特に専門性というスキルはないが、多動など職員の増員による対応を必要とする子どもの現状にあわせる。